

新古今 後冷泉院御時ごれいぜいあんうへのをのことも大井河ををみ がはにはかりて紅葉浮水といへる心をよみ侍る。いかだしよまてこととはむ水上はいかばかり吹やまのあらしぞ 藤原資宗／行河のながれは絶ずしてしかもとの水にあらず。其水のちからをかりて大悲山の奥なる溪川より大木を筏として末は大井河に落すなり。これらも山海経にいふ水神陽侯のたからとやいふべき。